

〈学校教育目標〉 学び合う 支え合う 鍛え合う



# のぞみ

雨竜小学校だより

発行 雨竜町立雨竜小学校

校長 三好考央

令和5年9月15日

第9号

〈めざす子どもの姿〉 4つのしっかり「あっ!そうか!!」

「大切な一票をお願いします!」

9月初めの朝、子供たちが登校してくる玄関前に行くと元気のいい声が響き渡っていました。児童会の選挙が間近に迫り、立候補者やその責任者の子供たちが選挙戦を繰り広げていたのです。

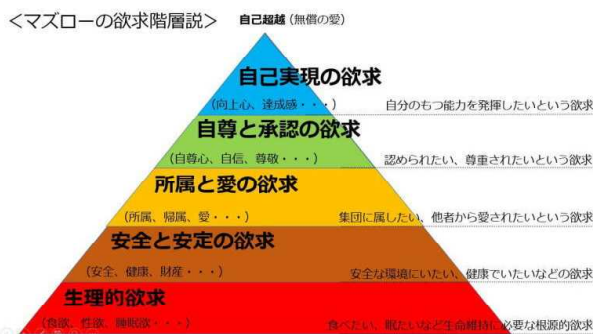
何かに挑戦しようとする気持ちはとても大切です。挑戦する気持ち無くして人は変わりません。その挑戦したことが失敗に終わっても、そこで経験したことは今後の生活に大いに役立っていきます。まだまだ小学生ですからできないことがたくさんあって当たり前です。挑戦するからできるようになるのです。自転車に乗ることに挑戦しなければ一生乗ることができないのと同じです。挑戦している子供たちの目は輝いています。

では、様々なことに挑戦しようという気持ちをもたせるには何が大切なのでしょう。その方法は数多くあるのですが、その一つに心理学者のマズロー氏が提案した『マズローの欲求階層説』というものがあります。写真で示されているとおり、最上位『自己実現の欲求』(向上心=挑戦しようとする気持ち)を満たしたいと思うのは、その前段階の『自尊と承認の欲求』や『所属と愛の欲求』などが満たされる必要があるということです。

このことが全てではないですが、学校は安心・安全を最優先に、様々な取組で子供たちの学級や学校での所属意識を高め、子供たちの頑張りを認めるよう日々励んでいます。

選挙活動に汗を流す子供たちのように、これからも「チャレンジいっぱい」の子供たちを育てていきたいと考えています。

〈マズローの欲求階層説〉



## 後期児童会役員

会 長 6年 [ ] さん

書 記 6年 [ ] [ ] さん

副会長 6年 [ ] [ ] さん

書 記 5年 [ ] さん

副会長 5年 [ ] [ ] さん

## 修学旅行 8/29~30

5年生の宿泊学習に続き、6年生の修学旅行で本年度の宿泊的な行事が終了しました。修学旅行の様子は次のとおりです。

- 1日目
- ・北海道新聞本社にて実際のカメラマン、記者から新聞づくりについて学ぶ
  - ・札幌地下街でグループ毎の昼食と、地下鉄での移動
  - ・大倉山ミュージアムにて冬期スポーツのバーチャル体験など
  - ・宿泊先ルスツリゾートでプールでの遊び、買い物など
- 2日目
- ・ルスツリゾートでの遊び（絶叫系マシン）
  - ・昼食は焼き肉
  - ・ルスツでレザーストラップづくり
  - ・帰校

事前に様々なことを調べ、現地で確認し、友達と楽しく過ごすことを目的として実施しました。一回り大きくなった6年生でした。



## 小中合同研修会 9/11

子供たちの学びが9年間スムーズに進められるよう、小中で『主体性・協働性』などを育む授業づくりについて、ICT機器の効果的な活用をベースに研究を進めています。当日は2年生の算数の授業と、中学校1年生の技術科の授業を公開し、空知教育局の指導主事から、今後の研究の方向性など示唆をいただきました。これからも子供たちの確かな学びを保证するため小中で力を合わせ取り組んでいきます。



左写真は技術科の授業の様子。

右写真は真剣に研究討議をする小中学校の職員